

平成 24 年度見学会を実施しました。

平成 24 年 10 月 25 日木曜日、好天の下、九州支部平成 24 年度見学会が実施されました。

見学会は、九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）と九州コンクリート研究会との共催で、KABSE と主催を毎年交替で実施されています。今年度は JCI 九州支部の主催となっており、国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所のご後援も得て、次のような行程にて実施されました。

8:00 博多駅集合・出発

9:30 三菱マテリアル社東谷鉱山にて、セメント原料となる石灰石について、ならびに石灰石の採掘について講話を受けた後、採掘現場の見学を行いました。

広大な鉱床とそこで働く最新鋭の大型機械を見ることができました。



11:30 同鉱山発

12:15 道の駅 昼食休憩

13:00 麻生ラファージュセメント社田川工場にて、セメント、ならびにセメントの製造工程についての講話を受け、工場内のセメント製造設備を 3 グループに分かれて見学しました。

副産物や廃棄物を有効的に再利用しており、環境工場としても機能していることがわかりました。また安全に対する配慮が徹底されており、参加者も工場への入構の前には安全教育を受講しました。



15:00 同工場発

15:15 201 号飯塚庄内田川バイパス工区にて、軟弱斜面のアンカー法面補強工法とアーチ型カルバート

を利用した連続高架について国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所の担当者より講話を受けながら見学しました。

特に、アーチ形状をしたカルバートが印象的でした。



16:30 同工区発

17:30 博多駅到着・解散

満員の40名には至りませんでした、33名の参加者を得て、

出発の午前8時の時点では、博多駅はやや肌寒いぐずついた天気でしたが、時間とともに天候は回復し、まさに絶好の見学会日和だったと言えます。

参加者の方々のご協力により、見学会は常に定刻の通りスムーズに進められ、本当にありがとうございました。また、見学会に快くご理解くださり、多大なご支援をいただきました三菱マテリアル株式会社東谷鉱山の皆様、麻生ラファージュセメント株式会社田川工場の皆様、さらに国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所飯塚詰所の皆様、誠に有難うございました。この場を借りてお礼申し上げます。皆さまの今後のご健康とご活躍をお祈りいたします！

最後に、本見学会は土木学会のCPDプログラムとして認定されておりましたことを付記しておきます。

(学術委員長 重石 記)

本会の担当者：学術委員会 日高・平安山・重石、事務局 堤